

会の趣旨

これからの算数・数学教育を考える会は、全国の方々と、算数・数学教育のあり方について議論・交流する会です。

日頃の学校現場での算数・数学の授業実践を持ち寄り、指導の改善につなげたり、新しい教育内容・方法の考案・検証を行っていくことを目的としています。

算数・数学教育に関心のある先生、教員を目指す学生・高校生、一般の方々のご参加をお待ちしています。

日時

2026年 11月 15日 (日)

14 : 00 ~ 15 : 00 事例発表

15 : 00 ~ 15 : 30 教育最新事情

プログラム Zoomによるオンライン開催(参加費無料)

14 : 00~14 : 30 事例発表 1

「あそび」の体験を、どうやって算数の学びにつなぐか
井上 侑樹 (京都教育大学附属京都小中学校 教諭)

14 : 30~15 : 00 事例発表 2

生成AIとの協働による教材研究と授業設計の模索
吉田 耕平 (京都府立鳥羽高等学校 教諭)

15 : 00~15 : 30 教育最新事情

2040年に理数系人材300万人不足にどう対応するか
黒田 恭史 (京都教育大学教育学部数学科 教授)

対象 小・中・高等学校教員、学生、一般 定員 100名

申込先

URL(QRコード)にアクセスして

お申し込みください。申込締切：11月12日

<https://forms.gle/AcSAN1yW44faDF6HA>



問い合わせ

黒田恭史 (京都教育大学)
ykuroda@kyokyo-u.ac.jp

※参加申し込みができない場合は、上記の問い合わせ先までご連絡ください。

※11月13日(金)頃に参加方法の案内をメールで連絡します。

第
31
回

「これからの
算数・数学教育を考える会」